

令和2年度における森林環境譲与税の用途について（四日市市）

(i) 事業区分	(ii) 事業名	(iii) 事業総額（千円）			(iv) 事業内容	(v) 実績	(vi) 税導入の効果（総括）
		うち令和2年度の森林環境譲与税（千円）	(B) うちの財源（千円）				
木造公共建築物の整備等	一般備品整備費（小学校）	3,168	3,168	0	神前小学校図書室にテーブル等の木製備品を導入	・ 図書机10台 ・ 図書椅子40脚	【ワンフレーズ】 税活用により、 ・ 学校の図書室、技術室が木のぬくもりある落ち着いた空間となり、児童の学習環境が整った。 ・ 里山の貴重な緑を保全するため私有林0.86haの施設整備と維持管理を行った。 【詳細】 本市は、里山の土地所有者の高齢化や、時代の変遷とともに里山自体に経済価値が失われてきたことなどから、除伐や枝打ちなどの手入れを放棄する地権者が増え、竹林の侵食などにより各地で里山が荒廃し、地域の特色ある景観が失われるといった影響もでてきたことから、本税を市民緑地制度に活用し、里山保全を推進することとして取り組んでいる。 結果、税導入前約6.3haであった里山保全面積が、税導入により約8.8haと1.4倍となるなど、里山の保全が図られた。 また、学校に木製備品の導入を行うことで、児童が森林や木材について学び、ふれあう場を提供することができた。木製備品が導入された学校の児童からは、木の香りが漂うくつろいだ部屋で学習ができると好評である。
	一般備品整備費（中学校）	5,435	5,435	0	富田中学校図書室にテーブル等の木製備品を導入	・ 図書机12台 ・ 図書椅子48脚	
私有林整備	里山保全事業費	498	498	0	里山など貴重な緑を保全するため、市民緑地制度に基づき市が無償で借り上げた民有地1箇所（糖塚山）の施設整備および維持管理を地域団体に委託	・ 散策路整備 ・ 間伐 0.86ha	
基金積立（森林整備等）	基金積立	19,029	19,029	0	森林経営管理制度による森林整備に備えた基金への積立を実施	—	残額は森林経営管理制度による森林整備に使用するため、基金に積み立てた。